

## <白金標準先物、WPIC の需給報告の見直し期待・・・>



(出所：オアシス)

ウクライナ情勢を受けてロシア絡みの天然ガスや原油、小麦やニッケルなどが過去の高値を更新している。またロシアは世界のパラジウム供給の4割を占めており、NYパラジウムは対ロシア経済制裁処置を受け2300ドルから2981ドルまで29%の上昇を行なうなど、ロシアの供給懸念が高まりを示している。

しかしPGMのプラチナは供給の7割が南アフリカであり、そのため12月15日にバイデン政権がロシアのウクライナ侵攻の警告を発した日からパラジウムは95%の上昇を行ない、プラチナは27%の上昇を行なうなど出遅れ感は否めない。しかし今週9日にはWPICの第4四半期プラチナ需給報告を控えており、前回の第3四半期プラチナ需給報告では2022年の予想で20トンの供給過剰と予想していた。特にウクライナ情勢を受けて需給バランスの見直しが示されると白金標準先物で4100円を超え、2021年2月にロシア・ノリリスクニッケルの鉱山水没に伴う生産低下を受けた高値4524円まで上昇を行なって来る可能性は高まると予想される。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルの下げ止まりを上回るなど買いのサインを示している。またRCIは短期が上昇し、長期は高い水準を維持するなど、強気の継続を示している。また移動平均線でも10日移動平均線と40日移動平均線が上昇を示すなど基調は強気を示唆している様に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 453,000 円(2022 年 3 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 3 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>